

銚子市公立保育所再編方針（案）説明会（海鹿島保育所関係者第1回） 概要

- 1 日時 令和2年1月9日（木） 午後4時5分から午後6時
- 2 場所 海鹿島保育所 保育室
- 3 参加者

海鹿島保育所 保護者・関係者	指定管理受託者	事務局職員	合計
20名	2名	4名	26名

4 概要

- (1) 事務局職員紹介
- (2) あいさつ（山口子育て支援課長）
- (3) 内容説明（神崎課長補佐）
- (4) 質疑応答

【関係者】

説明を聞いて市の厳しい状況は理解したが、海鹿島保育所閉所の方針に至った経緯は、行革作業の流れで支出削減のために後付けで急に決められたのではないかと感じる。（保育所再編を検討した）子ども・子育て会議15名の委員に海鹿島保育所の指定管理者である社会福祉事業団が選ばれていないのは遺憾。入っていない理由は。

【事務局】

子ども・子育て会議は各方面から人材を選定し、平成30年5月からの任期で委員を依頼したもので、意図して会議メンバーに含めなかったわけではない。

【関係者】

事業団は銚子市から独立した団体であり、民間事業者と捉えることができないのか、運営費以外は市からの補助というのは無い。そうであれば、そもそも銚子市公立保育所再編方針から除外されると思うが。

【事務局】

民間の事業者ではあるが、銚子市の土地・建物での保育所運営を指定管理で行っているため、公立の区分になる。

【関係者】

市の土地を借りて運営している民間保育園もあると思うが、それは私立ということになるのか。

【事務局】

賃貸借契約を結び、市の土地を有料で借りて民間保育園を運営している場合は私立。

【関係者】

海鹿島保育所はそれほど市の財政負担になっているのか。平成 29 年度、75,226,500 円、平成 30 年度の保育委託料は 70,949,270 円、これは、国、県の基準の入所児童数にあわせて計算した委託料で、交付税をうけると銚子市の負担は全くないと思う。50 万円を超える修繕費は市が出すことになっているが、それほど大きな金額のものはない。海鹿島保育所に対する市の負担は少なく財政上の問題からも除外されるのではと考えるがいかがか。

【事務局】

国から普通交付税で、一括で来るが市の負担はある。

【関係者】

建築後 50 年と言われれば古いと思うが、どこが悪いのか調査はしたのか。

【事務局】

調査自体はしていない。海鹿島保育所の建物は古いが、丁寧に使っていると思う。しかし、水道の配管など、表面に見えないところの修繕は必要と思われ、大きな修繕があった場合に市の財政の現状では、急な対応ができない状況。

【関係者】

海鹿島保育所は現在（3 歳）未満児が 29 名在籍している。人口減少とあるが、就労を希望する母親は多いと思う。未満児保育は重要で、銚子市が働きやすい街として、銚子の人口増加にも寄与すると感じる。

【事務局】

子育て支援課は、入所受付、相談を受ける窓口なので（3 歳）未満児の保育の必要性、重要性は認識している。

【保護者】

どのような経緯で、海鹿島保育所が閉所するながれになったのか。噂では、民間保育園連絡協議会から何か言われたからということですが。

【事務局】

子どもの数の減少を受けて、市長あてに、平成 30 年 11 月に第二・第三・第四保育所の定員引き下げ、海鹿島保育所を閉所してはどうかという要望書の提出を受けたのは事実だが、それが理由で海鹿島保育所の閉所を検討したわけで

はない。平成 24 年度末に第一保育所を閉所した後も、子どもの数が減るのであれば、保育所の再編をさらに検討することにはなっていた。昨年度の緊急財政対策を受けて、検討が加速した。

「なぜ海鹿島保育所が。」と疑問があるかと思うが、子ども・子育て会議での意見も踏まえながら、検討してきた。

市内全体に西と東に 1 か所ずつ保育所があるとバランスが良いが、西の区域には公立保育所は無いため、一番西にある第四保育所を残し、東に位置する第二・第三・海鹿島保育所のうちどこを残すか、できるだけ影響のない形で、第二保育所を残すことが良いのではということになり、海鹿島保育所の閉所を先に、その 2 年後に第三保育所の閉所を進めることにより、在籍するお子さんに影響の少ない形を取れると考え、この案を提示させていただいた。

このまま、市が 4 か所の公立保育所を今後も維持していくことは、難しい状況。また、保育所での教育という観点からも、いくつもの保育所を少人数のクラスで運営していくのは市の方針としては難しいところ。

【保護者】

海鹿島保育所は運営費のうち市の負担が一切かかっていないと聞いているが、それでも公立保育所として閉めることで財政的に余裕が出るものなのか。

【事務局】

全て交付税で賄われているわけではなく、民間保育園（への支出）と同じように市の負担はあると聞いている。公立保育所の運営で市の負担が全く無ければ公立保育所を再編ということにはならない。ただ、実際にいくら交付税が来ているかが全くわからないので、本当に市の負担が私立と同一なのかは明確に言えない。

【保護者】

建物の維持費の面では市の負担が軽くなるということか。

【事務局】

公立保育所の改修費は国からの補助は一切ない。また維持費についても全額市町村の負担である。

海鹿島保育所の建物をこのまま残して運営するとなると、大きな改修が必要になる。公立の他の保育所も修繕は必要になってきており、すべてを維持していくことは難しい。

【保護者】

公立保育所の定数（定員）を引き下げるということは可能か。

【事務局】

現時点で定員を減らす考えはない。定員を減らすことは可能だが、大きな規模を予定して建てられている第二、第三、第四保育所を小さな規模で運営するのは非効率的である。

【保護者】

駐車場については、海鹿島保育所以外はどのような状況か。

【事務局】

第四は駐車場がなく、第二は保育所の前に7～8台、第三も保育所敷地に7台分程度。駐車場の件は課題と認識している。

【保護者】

海鹿島保育所は多くの途中入所の受け入れをしてきた。海鹿島保育所、第三保育所を閉所することにより、途中入所が出来なくなってしまうのでは。

【事務局】

育児休業明けの途中入所については十分承知している。他の公立保育所はもちろん、私立保育園でも受け入れしてもらおう。

【保護者】

保育所が変わること、環境が変わることは、子どもたちにとって負担になると思われる、とまどうとも思う。第一保育所を閉所したときは、どのようなケアをしていったのか。

【事務局】

第一保育所閉所前の1年は、近くにある第三保育所との交流を図り行事なども一緒に行った。

海鹿島保育所の閉所まで3年あり、今後、他の保育所と交流していくことができると思う。

意見

- 物理的な要因が大きいと思うが、50年の歴史を持つ海鹿島保育所の歴史的背景・地域との関わり、なぜ海鹿島保育所は人気があるのかが加味されず誠に残念。
- 海鹿島保育所は子ども達がより良い環境の中で成長し、保護者が安心して子育てができる環境を備えている。

- 海鹿島保育所を最優先で閉めるとなったときに、子ども・子育て会議に海鹿島保育所の関係者をオブザーバーとして呼んで欲しかった。
- 子どもたち、保護者である地域の方、保育士の三者を大事にしていかないと、保育所を守っていくことにならない。
- この1～2年に保育所を減らすという計画なので規模の大きなところを残そうとなっているが、今後入所児童数が減少するのであれば、保育所の数を減らさない対応も可能と考える。このような点からも再編計画に納得できない。
- 出生数は大きく減っているが、0歳児入所は減っていないはず。0歳児を預ける割合は増えている。再編計画、子育て支援事業計画に0歳児の入所の推移が見えてこない。銚子市に必要なのは子どもを預けて安心して働ける環境であり、それを発信していくこと。今まで0歳児を多く預かってきた海鹿島保育所を閉所するとそのメッセージが見えなくなってしまう。